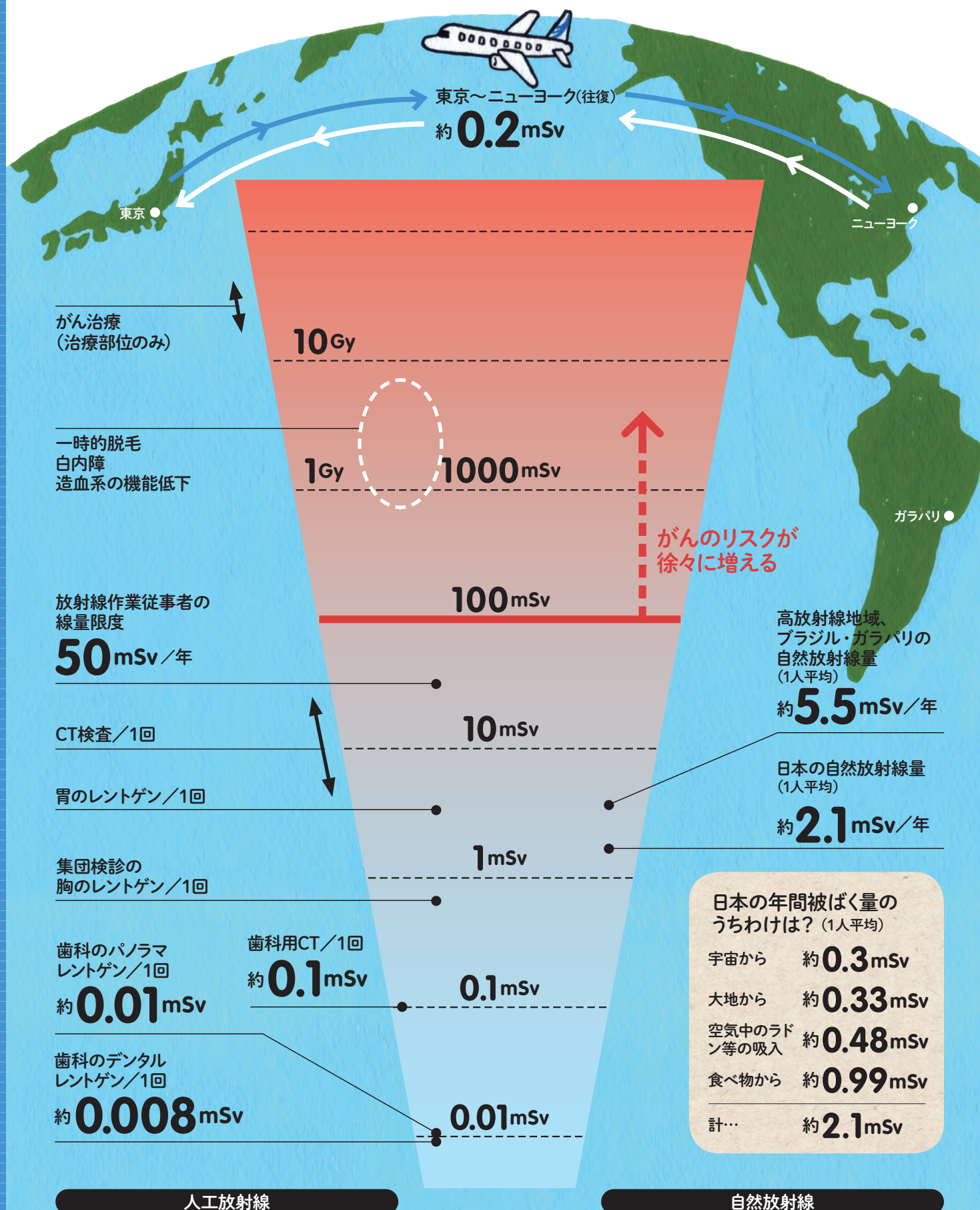


歯科の放射線被ばく量を早わかり!



※放射線医学総合研究所「放射線被ばくの早見図」を引用改変

監修：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野 教授 山崎要一
協力：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野 教授 馬嶋秀行
准教授 犬童寛子

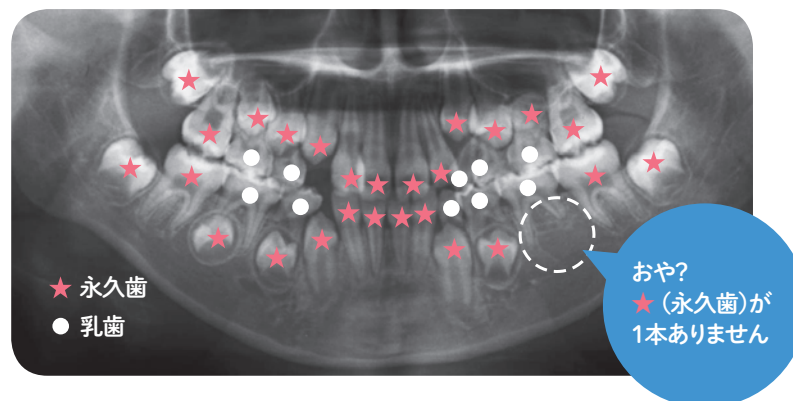


7歳くらいになったら一度 パノラマレントゲンを撮りましょう!

お子さんの歯が乳歯から永久歯に生え代わる頃に、外から見ていただけではわからない問題が起きてくることがあります。歯が多すぎる「過剰歯」は約30人に1人、永久歯が足りない「欠如歯」は約10人に1人に見つかるといわれています。

パノラマレントゲンを撮って見たら?

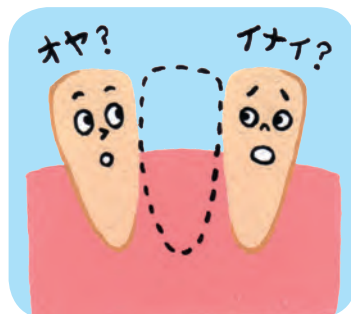
あごの骨のなかで永久歯が育ち、生えはじめたり、生える準備が整ってくるのがちょうど7歳頃。この年齢でパノラマレントゲンを撮ると、将来どんな歯がどう生えそうかがほぼ予測でき、トラブルの早期発見につながります。おとなの骨格に成長するまでにはまだ時間もあるので、対策をとりやすいというメリットもあります。



生え代わりの頃に起きてくるトラブルって?



歯の芽が多くでき過ぎて余分な歯が育ち、永久歯が生えるのを邪魔する。

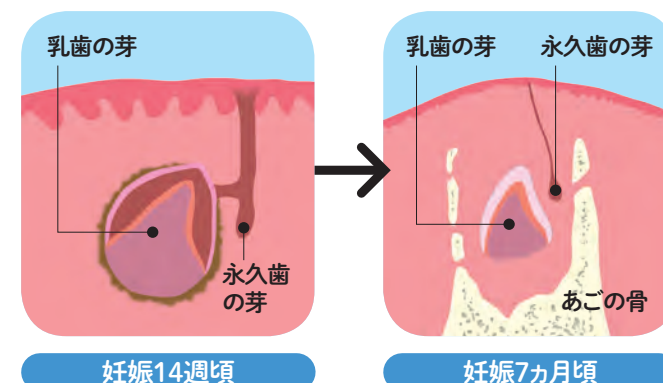


歯の芽ができなかったりうまく育たず、永久歯が足りない。



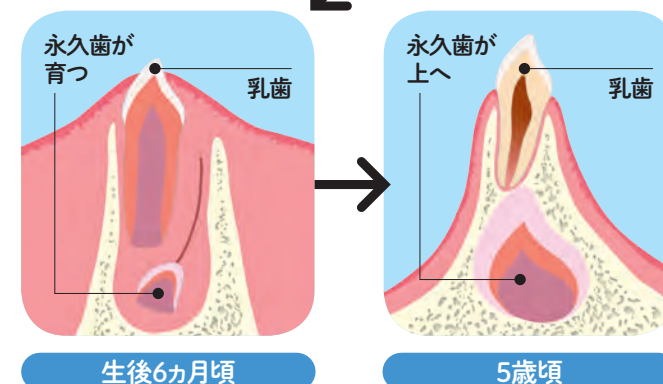
迷子になった歯が進む方向を間違えたり、他の永久歯を傷める。

あごのなかに歯の芽ができ育つまで



あごのなかで乳歯と永久歯の芽が生まれます。

乳歯が育って少しずつ歯らしくなっています。



乳歯の下で永久歯が徐々に育っています。

永久歯が乳歯を押して生え代わりの準備をします。